



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

「たくましく」そして「やさしく」「なかよく」

校長 川添 倫義

5月12日（水）に、校内バスケットボール大会が行われました。6年生は練習の成果を発揮して力の限りプレーしました。アリーナに「ナイス」や「ドンマイ」等のかけ声や自分たちで作った応援歌が響き渡り、お互いに支え合い、協力し合いながらプレーしました。すべてのクラスが最後までボールを追い続けた結果、1組が優勝の栄冠を手に入れました。試合に負けたチームの児童は大きな涙をこぼしました。しかしながら、この涙はチャレンジしたからこそその涙です。元女子サッカー日本代表の監督でチームを世界一に導いた佐々木則夫氏は、「成功の反対は、失敗ではなく、チャレンジしないことである。」と言われていたそうです。どのクラスの児童も、目標に向かって果敢に取り組んだ今大会の経験は、きっと大きな成長につながったことと思います。

さて、「向小学校の子どもたちはどのような子どもたちですか？」と聞かれたら、私は「優しい子どもたちです。」と答えます。向小の子どもたちは「人を受け入れること」ができる優しさを持っています。自分だけ良ければいいとか、人と比べて「あの人は変だ。」とか言うことはありません。みんなと同じことができない人がいても、そっと見守ったり、手を差し伸べたりすることができます。お休みしている人に対して、第一にその人の状態を気にかけてくれます。

6月のお話朝会では、「自分よし」「相手よし」「第三者よし」の「三方よし」の大切さについて話します。また、「あったか言葉」をさらに広めていきたいと思っています。「ありがとう」「いいね」「がんばったね」等、たくさんあると思います。

これからの社会を生きていく中では、一人で「強くなろう」と頑張ることも大切ですが、「優しくあろう」とにっこり微笑むことが求められていると感じています。「真面目であること」「丁寧であること」そして「謙虚であること」の3つができると人からの「信頼」につながると言われます。人とのつながりは一人では考えられないような大きな力となり、素晴らしい仕事ができるようになります。「やさしく」「なかよく」（自分も人も大切にする力）は、学校教育目標の一つにもなっています。

私は、今日も校内のいろんなところで見かけた「穏やかで優しい」向小学校の子どもたちが大好きです。